

パラグアイ海外邦人安全対策情報

(平成30年10月～12月)

1 安全に関する情報

外務省海外安全ホームページで、パラグアイ国内の以下の地域に危険情報が発出されていますので、ご注意ください。

●コンセプション県ウブ・ジャウ市と隣接するアマンバイ県内の県境付近、コンセプション県の一部、サン・ペドロ県の一部、アマンバイ県カピタン・バド市、アルト・パラナ県プレシデンテ・フランコ市

:「レベル2:不要不急の渡航は止めてください。」(継続)

●アスンシオン市及び周辺、アマンバイ県ベジャ・ビスタ・ノルテ市、ペドロ・ファン・カバジェロ市、カニンデジュ県サルト・デル・グアイラ市、アルト・パラナ県シウダ・デル・エステ市、イタプア県エンカルナシオン市

:「レベル1:十分注意してください。」(継続)

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1)全般

パラグアイ国内では、オートバイを利用した拳銃使用の強盗事件、市街地での置き引き、車上荒らし等が発生しています。カメラや目立つ貴金属等を露出しない、不用意に貴重品を持ち歩かない、屋外で不急の携帯電話の使用は控える、カバンは身体から離さない等、強盗・盗難の被害に遭わないように心掛けてください。また、銀行や金融機関に出入りする客を狙った強盗も多く発生しています。周囲の状況を常に確認するようにし、警戒の意識を保ちながら行動するようにしてください。

(2)主な事件概要

- ・ 10月9日、アスンシオン市セントロ地区の住宅地で異様な匂いがすると近所の住民から通報があり、警察官が現場を調べたところ、51歳の女性、その娘の25歳の女性、4歳と8歳の男の子の遺体が発見された。遺体は死後から数週間が経過していた。
- ・ 10月11日、カアグアス県カアグアス市内で、ドライバーを拳銃で脅し車を強奪したとして男が逮捕された。男は現役の警察官だった。
- ・ 11月10日、セントラル県サン・ロレンソ市でプロサッカーチームの「CERRO PORTENO」のサポーター約85名が警察車両を襲撃した。警察は現場にいたサポーター数十名を逮捕した。
- ・ 11月10日午後10時30分ころ、イタプア県エンカルナシオン市の住宅地で、26歳の女性の遺体が、ナイフのようなもので11カ所を刺された状態で発見された。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

特に無し。

4 日本企業の安全に関わる諸問題
特に無し。